



2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社リベロ
代表者名 代表取締役社長 鹿島 秀俊
(コード番号:9245 東証グロース)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 横川 尚佳
経営管理本部長
(TEL:03-6636-0300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,860 ～3,000	百万円 150	百万円 152	百万円 105	円 銭 19.84
今回修正予想（B）	2,540	58	58	40	7.66
増減額（B－A）	△320 ～△460	△92	△94	△65	－
増減率（％）	△11.2 ～△15.3	△61.3	△61.8	△61.9	－
（参考）前期連結実績 （2021年12月期）	百万円 2,376	百万円 359	百万円 345	百万円 239	円 銭 346.31

2. 修正の理由

売上高につきましては、当初まん延防止等重点措置等の影響を考慮してレンジ開示しておりましたが、法人企業及び不動産会社からの情報数が第3四半期において当初予想を下回ったことにより、インターネットやライフライン等の取次件数、転貸契約戸数も当初予想を下回る見込みとなりました。加えて、電力の取次手数料単価については当初計画時の想定金額より減額となったことにより、当初予想を不動産会社向けサービスが12%程度減少、法人企業向けサービスが20%程度減少しレンジ予想下限を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、上記売上高減少に伴う利益減少に加え、第4四半期において今後の業容拡大に対応するため、次年度以降に計画していた東京支店新設（東京都豊島区）を前倒したことで当初計画以外の販売費及び一般管理費が増加する見込みです。これらの結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を下回る見通しとなりました。

（注）上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による当社への影響は軽微であります。

以上